

2010年1月4日

平成22年 年頭挨拶

株式会社インターネットイニシアティブ
代表取締役社長 鈴木 幸一

新年明けましておめでとうございます。

世界は様々な難問を抱えながら、新年を迎えました。

それぞれの難問は、根が深く、容易に解決の道を見出すことは難しい事象ばかりです。日々の暮らし、深刻な経済状況といった身近に感じられる現象も、より困難で世界的な難題と密接なかかわりを持っています。平和で過不足のない状況というのは、世界的な視野で見れば、歴史的にも存在しなかったのではないかという思いがします。21世紀の始まりは、様々な軋轢が、違った形で表面化してきた時代でもあります。この時代、世界を仕組みごとかえてしまう可能性をもった技術革新が、情報通信分野に起こった、インターネットです。

「通信」と「情報」が、コンピュータサイエンスという共通な技術基盤の上で動くことによって、世界の仕組みが変わるであろうことは、40年も前から予測されてきたのですが、それが具体的な形となって、浸透し始めてきました。

「クラウド・コンピューティング」という言葉は、あらゆる情報システムがネット上に存在していく過程の象徴的な意味合いを持っています。それは、メディアを含めた情報のあり方、コンピュータシステムそのもの、あらゆるデータの持ち方等々、世界規模で根本の変化を促すものです。

IIJ は、わが国のインターネットの商用化から、今日に至るまで、インターネットにまつわるあらゆる技術面で、イニシアティブをとり続けてきました。より本質的な変化が具体化をはじめた本年は、IIJ にとって、インターネットの商用化を始めたときと同じような、重要な意味を持つ年となります。「信頼性・品質」という創業以来の社是を踏まえ、大きな革新に貢献していく所存です。

以上